

高橋富兄 （たかはし ともせき） 國學者、歌人。文政八年六月五日加賀國金澤生れ、大正三年九月二十一日歿（八五―一九四）。幼名權二郎、通稱正左衛門、曰理、權大夫。號古學舎、梅の屋、梅園。藩塾明倫堂に入り、國學を田中躬之介に學ぶ。嘉永五年國塾代講、のち主講師。維新後藩廳社司係、山濱神社宮司を経て教職等擔任。明治二十六年六十九歳で第四高等學校教授に任じた。二十四年退官後は、月次歌會を開くなど門人多數を指導。四十年大日本歌道奨勵會評議員。

著編書 『國文軌範』全二冊（藤田維正共輯、明治十六年十一月石川・益智館）、『梅の屋集』（編、明治二十二年十一月十五石川・石古香堂）、『梅の屋集』（光浦一郎編、昭和八年四月一日富山・太刀山歌會）等。

